

## 電子負荷療法

群馬リハビリテーション病院  
内科・リハビリテーション科  
西 勝久

電子負荷療法は、漢字の並び方どおり、電子を体内に負荷して、心身バランスを調節する治療法です。疾病によっては治癒することもある治療法です。

堀口 裕先生の還元電子治療に近似していますが、堀口先生よりかなり前に、医師である高田蒔先生により創出された治療法です。

良導絡治療の反応良導点の考察をしているうちに、体内電子作用に興味をもち、体内電子の増減と電子のふるまい方から、体内に電子を補う治療、タカダイオンによる電子負荷療法は、理に適った治療法ではないかと思うようになりました。自らタカダイオンを購入してタカダイオンによる電子負荷療法を試みると、自分にとって好ましい健康状態になってきました。現在も使用していますし、群馬リハビリテーション病院でも病院で 2 台購入していただき、私が主治医になっている、タカダイオン使用可能な患者に使用しています。よくなっていく患者をみて、病棟職員らが密かにタカダイオンを購入して使用し、自分たちの体調がよくなってから、「タカダイオンをつかって体調がいい！」と私に報告してくれます。

高田蒔先生と広藤道男先生らが、電子負荷療法の使用経験の記録を多数残してくれています。

本日は、電子負荷療法の紹介を致します。

良導絡自律神経調整療法と同様に、日本の先駆者が開発した治療法である電子負荷療法も、継承、発展させていきたいと思います。